

コロナから商売を守る -中小業者を全力サポート-



持続化給付金 ややこしい手続き突破

居酒屋のMさんは、持続化給付金を申請しましたが、上手くいかずに3回も不備メールが。民商に相談し、集計表と一緒に「これが私の売上です」とのメモを添付。コールセンターにも追及し、審査側の計算ミスが判明。無事に振り込まれ、「くじけそうになったが、みんなの励ましが力になった」と話します。



コロナ第2波が急拡大。民商はあらゆる制度を活用して営業を守っています。困難な相談も、みんなで励まし合い解決へ。一緒にコロナを乗り越えましょう。

国保料減免 27万円が全額ゼロに

国保料27万円の通知が届いたSさん(製造)。コロナで仕事が激減し、「とても払えない」と



民商へ。民商の仲間と一緒にコロナの減免申請をすると、その場で全額免除が決定しました。「国保料がゼロになるなんて初めて。本当に助かる」と一安心。他の保険料も減免申請する予定です。

経営の補助金 コロナ対策で100万円

美容室のAさんは売上が半減し、あらたに化粧品のネット販売をすることに。HPの作成費用などで持続化補助金のコロナ特別



型(上限100万円)を申請。民商と一緒に経営計画書をつくり、実行されました。

1人で悩まず何でも
気軽にご相談を



0120-22-0000

民商おおさか

ウェブ検索 

